

世界史B 26イギリスのピューリタン革命

1.議会と王の対立

()**1**♠aのジェームズ6世(位1567~1625)
 →1603年イングランドで**ジェームズ1世**→()**2**朝=1603~1714創設。イギリス国教主義を強制。
 ♠a--14世紀以降ステュアート朝。16世紀にカルヴァン派=プレズビテリアン=長老派がひろまる。
 「**王権神授説**を唱え、議会の同意なしに課税・大商人に独占権
 ↳カトリックと()**3**=ジェントリや商工業市民=弾圧
 →庶民院の多数派→議会と王の対立 ピルグリムファーザーズ→アメリカ大陸へ
チャールズ1世(位1625~49)→専制支配。妃はヘンリエッタ=マリア=オブ・フランス
 1628年 議会「**権利**()**4**」を提出
 ・議会の承認なく[]**5**しない。 ・国民を不当に逮捕・拘束しない。
 1629年 チャールズは議会在()**6**、指導者を投獄。反対した者を**星室庁**♠bで弾圧。
 1640年 国教会を強制したスコットランドで反乱⇒『**主教戦争**』♠c→スコットランドが勝利
 →戦費のための課税→4月議会=()**7**議会」招集→課税を認めず→議会解散
 →敗北し賠償金のため11月議会在を再招集=()**8**議会」(~1653)
 ♠b--『星の間』におかれた国王大権下の特別裁判所。陪審員なし。1641年**長期議会**により廃止。
 ♠c--長老制のスコットランドにたいし大主教・主教の位階をもつ英国教会を強制したことから。

2.ピューリタン革命

1642年 王(王党派)と**議会派**が衝突。
 「**王党派**--大貴族・特権商人・宮廷ジェントリ
 ↳**議会派**--地方ジェントリ・商工業市民・ヨーマン→**ピューリタン**
 議会派=オリバー=()**9**♠d=1599~1658=の指揮する鉄騎隊。
 1645年 議会派が王党軍を破る。チャールズはスコットランドへ逃れるが、捕まる。
 ♠d--イングランド東部の地主=ジェントリ生まれ。ピューリタン。庶民院議員。
 ・議会派の対立
 「()**10**派 立憲王政と**長老制教会**を志向。ロンドンの商人、地主支持。
 「()**11**派 **カルヴァン主義**。共和政治。クロムウェルら中産の地主、商工業者。
 ↳()**12**派 平等・公平・宗教的寛容を唱える。小農、小市民、革命軍の兵士ら。
 1648年末までに長老派を追放→長老派はスコットランドに逃れ、チャールズ2世を迎える。

1649年1月 チャールズ1世を()**13**→5月()**14**=**コモンウェルス**=宣言

3.クロムウェルの独裁

「()**15**派=平等、普通選挙権を要求、アイルランド遠征を拒否=を弾圧。
 ↳スコットランド、()**16**征服=カトリック教徒の虐殺・土地没収。
 ↳共和政(1649~60)---事実上、独立派の軍事独裁。
 1651年 ()**17**条例---イギリスと植民地への輸送をイギリスと生産国に限定。オランダ船を排除。
 →()**18**戦争(1652~54年 1674年まで3回)
 1653年 ()**19**を解散。終身の**護国卿**(Lord Protector)♠eに就任⇒軍政
 ♠e--王が幼少時の後見人。以前から、王権に匹敵する大きな権限を持った。

4.王政復古と名誉革命

1660年 **チャールズ2世**(位1660~85)即位 亡命していたフランスから帰国
 →復古王政。王領、教会領回復。親フランス。死の床で()**20**に改宗。
 「1673年 ()**21**法 議会が決定。公職者を国教徒に限る。
 ↳1679年 ()**22**法 議会が決定。不法な逮捕・拘束を禁止。
 1685年 **ジェームズ2世**♠f=位1685~88即位 チャールズ2世の弟でカトリック教徒
 議会 「ジェームズを支持--()**23**=アイルランド語「おいほぎ」 貴族、僧侶、大地主
 ↳ジェームズを不支持--()**24**=スコットランド語「反徒」 資本家、都市中産市民

♠f--ヨーク公。第2・3次英蘭戦争(1664~74)に従軍。ニューアムステルダムを英領に⇒ [] **25**
 カトリックを公職に登用するなど、審査律を無視した**親カトリック政策**。
 1687年 **ジェームズ2世**、()**26****自由宣言**(翌年も)⇒カトリック、非国教会清教徒を保護。
 1688年 議会はオランダ統領ウィレム3世(位1672~1702)に派兵要請⇒ジェームズはフランスへ亡命
 新しく()**27**=ジェームズの娘=と夫()**28**=オラニエ公=を王位に。
 1689年 2人は議会の提出した「**権利**()**29**」を承認して王位に→**メアリ2世**(位1689~94)と**ウィリアム3世**(位1689~1702)
 「**権利**の()**30**」として公布。
国民的基本的人権と議会主義の原則確立→イギリス()**31**の基礎
 ⇒()**32**革命♠g
 ♠g--流血がなかったとしてそう呼ばれる。しかしウィレム軍は、ジェームズ2世とむすんで独立を回復しようとする()**33**、スコットランドを攻撃し、再び流血の事態となった。さらにジェームズ支持派「()**34**」
 =**Jacobus**=ジェームズのラテン語読みから=への弾圧も続いた。

アン女王(位1702~1714) **メアリの妹**
 「スコットランドと合同し[]**35**連合王国(1707~1800)となる
 ↳跡継ぎが不在でステュアート朝が絶える
 →遠縁のドイツのハノーヴァー家から**ジョージ1世**(位1714~27)⇒[]**36**朝♠h
 ♠h--現在のイギリス王室の祖→1917年ドイツ名を避け、王宮ウィンザー城から[]**37**朝と改称。
ウォルポール(任1721~42)→議会の信任を失い辞職⇒「**責任**()**38**制」開始
 →「国王は君臨すれども()**39**せず」の伝統

[クエーカー教徒]

17世紀にイングランドで**ジョージ**=()**40**♠i(1624~91)が設立。「**キリスト友会**」
 ♠i--宣誓や洗礼などの形式、儀式を否定。徹底した非暴力、平等を追求して様々な迫害、弾圧をうけ幾度も投獄された。
 ()**41**制に反対。アメリカにも布教し先住民の物腰や生活に感動したという。



アイルランド



クロムウェル



フォックス



メアリ2世



ウィリアム3世

- ・統治 ・議会(2) ・解散 ・請願 ・宣言 ・章典 ・内閣 ・独立 ・水平(2) ・処刑 ・奴隷 ・審査
- ・長期 ・短期 ・航海 ・英蘭 ・共和政 ・清教徒 ・人身保護 ・立憲政治 ・メアリ ・ウィレム
- ・トーリー ・ウィッグ ・フォックス ・ジェントリ ・カトリック ・ブルジョワ ・ジャコバイト
- ・アイルランド(2) ・クロムウェル ・スチュアート ・スコットランド